

特別会計・事業会計も、「住民生活優先」で

39億 2,130万円

予算
可決

国民健康保険 保険給付費が 大幅に増加

**予算の
あらし** 前年度比で約2億円(5.4%)増加となっています。これは、被保険者の高齢化等による保険給付費や後期高齢者支援金の増加によるもので、財源不足を補うために一般会計からの法定外繰入金(注)を2億円計上しています。国保財政が危機的な状況にあることから、町民が受ける医療給付と負担の公平性の確保を目指すため、国民健康保険財政健全化計画を策定し、健全化に努めるとしています。

2億 7,929万円

予算
可決

後期高齢者医療 引き続き 人間ドックを助成

**予算の
あらし** 被保険者に親身に対応するとし、ており、健康診査及び人間ドック費用の助成が、引き続き実施されます。



4億 7,376万円

予算
可決

下水道事業 寄居駅南地区整備 設計費を計上

**予算の
あらし** 寄居駅南地区整備のための実設計、男衾駅周辺地区の整備工事費を予算計上しました。

14億 2,806万円

予算
可決

水道事業会計 基本料金を 10%値下げ

**予算の
あらし** 彩の国資源循環工場第II期事業を取得。平成23年度と24年度の継続事業としてポンプ場建設を進めます。公共工事の影響に伴う配水管布設替え工事や老朽管の更新も進め、安定供給に努めます。
町民生活を支援するため、水道基本料金を10%引き下げることになります。

反対
討論

今こそ保険料を1世帯1万円引き下げ、安心の医療を
田母神節子議員
国保加入世帯6096世帯の約8割が年間所得200万円以下である。年間20万円以上の保険料は、だれが見ても大変。国が負担を50%から25%まで減らしたことが原因だが、町民の生命・財産を守るのが行政の役割だ。被保険者資格証明書・短期被保険者証の発行をやめ、だれもが安心して医者にかかれるようにすることが必要だ。

賛成
討論

75歳以上の医療費は無料にし、
老後は安心して暮らす町に
田母神節子議員
年齢で差別する後期高齢者医療制度は1日でも早く廃止し、75歳以上の方々には医療費無料で安心して医者にかかれるようにすることが必要だ。



2億 9,756万円

予算
可決

農業集落排水事業 平成24年度 折原地区、供用開始

**予算の
あらし** 折原地区農業集落排水事業では、平成24年度の供用開始に向け、引き続き管路施設工事とともに、処理施設の建設を進めます。

賛成
討論

水道料金の値下げは長い間の町
民の願い
田母神節子議員

水道事業の安定は、台風・災害時への対応等、職員の方々のご苦労で維持されている。念願の値下げは、町長の選挙公約でもある。2カ月20立方メートル使用していない、使用水量の少ない(10立方メートル)もの基本料金の設定を行い、実質的な料金引き下げが実現されることを希望する。



24年度に供用開始予定の折原農業集落排水処理施設

賛成
討論

危機的な状況の打開のための努力を
岡本安明議員
国民健康保険は国民皆保険の最後の砦として重要な役割を果たしているが、その財政状況は医療費の増加により歳出は増え続け、一方で税収は減るなど、全国的に危機的な状況にあり、寄居町も同様だ。そのため、特定健診等で医療費の増加を抑制しつつ、国・県支出金を的確に確保し、収納率向上のため被保険者資格証明書等を引き続き適正に交付するなど、さらなる対策に努めることを要望する。

賛成
討論

平成25年度には新たな高齢者医療制度創設へ
本間登志子議員
国では政権交代により後期高齢者医療制度は廃止するとし、新たな高齢者医療制度の最終案では、平成25年度からスタートさせる方針とのことである。
23年度予算では、健康診査などの予防事業により、高齢者の健康保持と医療費の増加抑制に取り組み、町民全体の健康を考え、さらなる方策に取り組み、制度の健全運営のため、関係機関との連携や保険料の確保などの努力を要望する。

注)法定外繰入金…国保会計の歳出に対する財源不足を補うために、一般会計から投入される繰入金のこと。国保財政を支える上でやむを得ないものですが、町の財政状況を考慮しながら措置されます。

次のページは「条例改正で水道基本料金10%値下げほか」